

## 地籍調査事業

### 再発防止に向けて

答弁…関係する市民の皆様方に深くお詫び申し上げます。  
できるだけ早く正しい状況に回復するとともに、その要因を精査し再び繰り返すことのないよう万全を尽くしてまいります。

及川 和子 議員

北川辺地域で実施された地籍調査事業において、平成23年度から平成26年度に実施した4地区で受託業者の職員によるねつ造が発覚しました。地籍調査事業は、土地の測量という専門的な作業で、その上で地権者が隣の土地との境界を定める事業です。

受託業者を信頼しなくては成り立たないこともありますが、それでも委託契約に係るそれぞれの検査があります。今後、委託検査は契約書類、設計書類、設計図書、その他の関係書類に基づいて、厳正かつ厳格に行うことが再発防止につながると思いますが、市長の考えをお伺いします。

市長 この問題につきま

しては、個人の大切な財産である土地の位置、面積を確定する業務に誤りがあったということで大変重大なことであります。改めて、関係する市民の皆様方にご迷惑をおかけしましたことに対し、心から深くお詫び申し上げます。  
まずは、できるだけ早く、正しい状況に回復することが責任の一端と考えます。また、今回の件が受託業者の書類等のねつ造が原因であったとしても、なぜそれを発見できなかったのか、その要因を十分精査して、事務処理に問題がなかったのかきちんと明確にし、再び繰り返すことのないよう万全を尽くしてまいります。

## 子育て支援

### 学童保育の充実について

答弁…現状において希望どおり入室できない待機児童がいるということは承知しており、公立及び民営の施設とあわせてトータルで考え、待機児童を減少させるために努力をしてまいりますと考えております。

松本 英子 議員

学童保育は子育て支援や子どもの健全な育成を図ることなどを目的とし、小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室を利用して行っています。その利用者は年々増えており、5年で247人増加しております。子ども・子育て支援制度のもとで、学童保育の整備についても充実が求められている中、学童保育室を必要とする児童に入室が確保できるよう、今の経済社会状況を踏まえて、子育て世代を応援し、若い人が子育てしやすい加須市を目指して、学童保育室の待機児童をなくしていただきたいと思います。市長の考えをお伺いします。

市長 現状において、希

望どおり入室できない待機児童がいるということにつきましては承知をしております。ただ、その解消については、保育所と同じように受入れ施設を簡単につくるというわけにはいきません。そういう意味で一時的に少しお待ちいただくといいと思います。これについては、保育所の待機児童ともやむを得ないと思っております。これについては、保育所の待機児童と学童保育室の待機児童とは少し性質が異なるものと思っております。いづれにしても、公立と民営の施設とあわせてトータルで考え、待機児童を少しでも減少させるための努力はこれからもしていきたいと考えております。

## 第二埼玉大橋

### 第二埼玉大橋について

答弁…合併後の加須市の一体性の中で、大きな課題であると認識しており、関係自治体と連携を図りながら、国及び県に働きかけ、実現に向けた動きをしていく必要があると考えております。

新井 好一 議員

総合振興計画に第二埼玉大橋の必要性について、課題というところで位置づけられております。現状の埼玉大橋の朝夕の混雑も結構あり、交通量が増大しております。また、圏央道の開通や東北道が近いことや様々な国道が走っていることからすると、この県境地域の産業の振興においても、また、加須市の一体的なまちづくりにおいても、第二埼玉大橋の必要性が現実味を帯びてくるのではないかと考えます。今後、協議を一層進め、表に出るような形で具体的な話が進むことを望みますが、考えをお伺いします。

市長 合併後の加須市の

一体性の中で何が欠けているかというところ、いろいろなのが全て北から南に来るときは利根川で止まり、南から北へいくときは、やはり利根川で止まる、こんな状況が顕在化しておりますが、加須市単独で架橋することや、国や県に対して、当然働きかける必要があります。これからも引き続き近隣の板倉町や栃木市などと協力して、それぞれの関係者、あるいは国も含めて申し上げる機会があれば、その都度申し上げます。架橋の実現には、少し時間はかかりますが、実現に向けた動きをしていく必要があると考えております。